

(様式5号)

動物実験の実施状況 (令和2年度)

1. 動物実験の実施件数			実施件数合計			37 件		
大中哺乳類			鳥類			その他		
動物種	件数	頭羽数	動物種	件数	頭羽数	動物種	件数	頭羽数
ウシ	23	2,453	ニワトリ	4	2,079			
ブタ	7	213						
ヤギ	1	20						
ヒツジ								
ウマ	2	24						

2. 動物実験の主な内容

[ウシ]

- 「乳用牛の繁殖性に影響を及ぼす遺伝子解析とその実用化」及び「肉用牛の改良形質に関する遺伝子解析とその実用化」
⇒DNA収集のため採血し、乳用牛は繁殖性について遺伝子解析情報との関連性を調査し、肉用牛は理化学特性データ等に関する遺伝子多型を調査した。(本所(改良技術課))
- 「次世代型ロボットによる視覚・体内から捉える飼養管理高度化システムの開発～搾乳ロボット及びセンシング技術の活用による個体情報高度活用システムの開発に向けて～」
⇒搾乳牛について、データ蓄積のための乳汁採取及び採血しBCS等を測定した。(新冠牧場)
- 「AIによる乳牛の分娩難易予測システムの開発」
⇒供試する母牛及び子牛について、写真撮影及び体重・体型測定を行った。(岩手牧場)
- 「牧野におけるマダニの種類、生息域及び保有微生物叢に関する研究」
⇒放牧地に生息するマダニの種類、生息範囲及び病原性微生物保有率を調査するため、体重測定、採血、体表に寄生したマダニの採取を行った。(鳥取牧場)
- 「黒毛和種における短期肥育技術等の開発」
⇒短期肥育技術の開発のため、肥育牛の体重体型測定、胸最長筋の画像撮影及び採血を行い、肥育後はと畜して枝肉は格付け及び胸最長筋の理化学分析を実施した。育成牛は、発育調査を行なった。(本所(管理課))
- 「人工知能による牛体外受精卵の自動評価」
⇒経膈採卵により採取した牛卵子を体外受精し、それらの胚の初期卵割における発生動態および発生胚の受胎牛への移植により生産した産子の過大子との関係性を探索するため、エコー画面を用いて卵子吸引、未成熟卵子を体外成熟培養して体外受精胚を生産・移植を行なった。(本所(管理課))
- 「令和2年度家畜個体識別システム定着化事業に係る耳標のフィールド試験」
⇒供試牛にサンプル耳標を装着し、脱落や破損を調査した。(十勝牧場、奥羽牧場、岩手牧場、本所(管理課))

[ブタ]

- 「生産現場で行えるガラス化胚の非外科移植技術の検討」
⇒子宮体部非外科移植器具、ガラス化胚の加温法を組み合わせた移植法の有効性検証するため、供試豚から採胚した胚のガラス化保存、子宮体部非外科移植器具、簡易加温法を用いた移植試験を実施した。(本所(管理課))

- 「国産豚肉差別化のための「おいしさ」の評価指標と育種改良技術及び飼養管理技術の開発」うち豚における肉質及び官能特性の遺伝子能力評価指標の開発
⇒肉質関連分子マーカーを探索するために採血し、体重測定した。と畜後は、センター内の肉質評価に用いられた。（茨城牧場、宮崎牧場）

[ヤギ]

- 「乳用山羊の乳生産性と栄養状態の季節的変化の解明」
⇒季節的変化を解明するため、分娩直後の4月から泌乳を終了する11月までの乳生産、摂取栄養素、血液に関するデータを採取した。（長野支場）

[ウマ]

- 「重種馬における輸血供血馬の適正に関する調査」
⇒血清中に赤血球抗原に対する抗体を持たない馬がいかにして抗体を産生するに至るかについて調査するため、重種馬から採血した。（十勝牧場）

[ニワトリ]

- 「鶏の改良形質に関する遺伝子解析とその実用化」
⇒DNA収集のために採血し、遺伝子型を解析する産肉性・産卵性能等を調査した。（本所(改良技術課)、岡崎牧場、兵庫牧場）

- 備考
- 1) この様式は、センターにおいて当該年度に実施した動物実験等の実施状況をまとめるものである。
 - 2) 「1. 動物実験の実施件数」の欄は、当該年度の動物実験等に供用した全動物種とその実験件数及び頭羽数を記載すること。
 - 3) 「2. 動物実験の主な内容」の欄は、当該年度に実施した主な動物実験について簡潔に記載すること。

令和2年度 動物実験に関する自己点検及び評価報告

動物実験委員会

1. 規程等

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 動物実験等法令及び基本指針に基づいた規程等が定められている。 <input type="checkbox"/> 規程等は定められているが、一部に改善すべき点がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・独立行政法人家畜改良センター動物実験実施規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・基本方針に沿って、規程が適正に定められている。 ・外部有識者からの指摘や状況の変化に応じて、適切に規程改正を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 規程に基づいた動物実験委員会が設置され、適切に運営されている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・「動物実験計画書の審査について」（委員会決裁） ・「令和元年度 動物実験実施報告書の審査、実験動物状況報告書の内容確認、動物実験に関する自己点検及び評価報告（案）について」（委員会決裁） ・動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・動物実験委員会の構成 動物実験等に関して優れた識見を有する者 4名 実験動物に関して優れた識見を有する者 1名 その他学識経験を有する者 2名 ・委員会の実施状況 令和2年度動物実験計画書の審査 11回（令和2年4月～令和2年12月） 令和元年度動物実験実施報告書の審査他 1回（令和2年9月） 令和3年度動物実験計画書の審査 5回（令和3年2月～令和3年3月） 以上のことより規程に基づき適正な委員会活動を実施していると判断した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

3. 施設等の維持管理

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 規程に基づき施設等は適切に維持管理されている。 <input type="checkbox"/> 施設等の維持管理に問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・令和2年度実験動物状況報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・令和2年度実験動物状況報告書の記載内容より、施設等は適切に維持管理されていると判断した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

4. 動物実験計画の審査及び実施

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 動物実験計画は、規程に基づき適切に審査、実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 動物実験計画の審査、実施に関して問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・令和2年度動物実験計画書 ・令和2年度動物実験実施報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・実験の途中で供用個体数の増加や実験内容の変更があるにもかかわらず、計画変更手続きを行っていない課題があった。 ・実験計画の承認を受けずに実験を実施した課題があった。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・問題のあった課題については、動物実験委員会として指導を行う（令和3年9月）。 ・供用個体数の増加や実験内容の変更がある場合は、計画変更手続きを行うように定期的にアナウンスを行う（令和3年9月より）。 ・現在進行中の受託研究や共同研究等に関して、動物実験計画の提出の有無を定期的にチェックを行う（令和3年度より）。

5. 動物実験実施報告書

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 動物実験実施報告書の実施結果は適切に理事長に報告されている。 <input type="checkbox"/> 動物実験実施報告書の実施結果の報告に関して問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・令和2年度動物実験計画書 ・令和2年度動物実験実施報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・動物実験の終了後適切に報告書が提出されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

6. 実験動物状況報告書

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 実験動物状況報告書は理事長に報告されている。 <input type="checkbox"/> 実験動物状況報告書に関して問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・令和2年度実験動物状況報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・動物実験の終了後適切に実験動物状況報告書が提出されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

7. 実験動物の健康及び安全の保持

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 飼養保管や輸送において、規程に基づき実験動物の健康・安全保持の措置が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 飼養保管や輸送において、実験動物の健康・安全保持に関して問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・令和2年度動物実験実施報告書 ・令和2年度実験動物状況報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・動物実験の終了後適切に実験動物の飼養管理状況が報告されており、問題ないことを確認した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

8. 生活環境の保全

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 規程に基づき施設等及びその周辺の生活環境の保全に努めている。 <input type="checkbox"/> 施設等及びその周辺の生活環境の保全に関し問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・リスク管理対応計画 ・家畜改良センター環境報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・悪臭等畜産公害に対するリスク管理対応計画が定められており、併せて環境負荷・環境配慮への取組状況を公表している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

9. 人への危害・環境の保全上の問題の防止

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 規程に基づき人への危害・環境の保全上の問題が適切に防止されている。 <input type="checkbox"/> 人への危害・環境の保全上の問題の防止に関し問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・令和2年度動物実験実施報告書 ・家畜改良センター環境報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・課題毎に人の安全確保への取組を報告しており、併せて環境負荷・環境配慮への取組状況を公表している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

10. 地震・火事等の緊急時の対応

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急事態に備えた措置に関する計画が定められ、緊急時の対応に問題はない。 <input type="checkbox"/> 緊急事態に対する備え、対応に関して問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・リスク管理対応計画
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・地震・火事等の緊急事態に備えたリスク管理対応計画を定めており、緊急時の対応に問題はない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

11. 教育訓練

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 規程に基づいて、教育訓練が実施されている。 <input type="checkbox"/> 教育訓練は実施されているが、問題がある。 <input type="checkbox"/> 必要な教育訓練が実施されていない。 <input type="checkbox"/> 当該年度には、教育訓練が必要な者はいなかったため、実施せず。
2) 自己点検の対象とした資料 ・eラーニングカリキュラム（「動物実験の基礎知識」、「動物実験の実施にあたり配慮すべきこと」） ・eラーニング受講者台帳
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・動物実験関係者のうち新規採用者等初めて動物実験に携わる者はeラーニングの受講を必須とし、その他の動物実験関係者は3年毎に受講している（受講者数：令和2年度54名）。なお、eラーニングでは、各単元毎のテキスト末尾にあるテストで、80点以上取得で修了となる。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

備考 該当する評価結果の□に✓印を記入すること。